

静岡県指定史跡

かわらけづか  
土器塚古墳



磐田市教育委員会





土器塚古墳(南から)

## はじめに

磐田市中泉・国府台にある土器塚古墳は、平成14年5月に、所有者のご厚志により古墳の墳丘部分が市に寄贈され、同年12月10日に静岡県史跡に指定されました。

## 名前の由来

一般的には「丸山」という通称で親しまれています。「土器塚」は、北西600mにある京見塚古墳などを中心とした「戒成皇子伝説」の中で、皇子やその従者が捨てた土器が塚になったと伝えられることから、その名前があります。



かわらけ

## 発掘調査の成果

平成12年度の発掘調査で、直径36m、高さ5mの円墳であることがわかりました。また、周囲には幅7m・深さ1mほどの堀がめぐっていたこともわかりました。

### ◆古墳の造られ方

高さ5mのうち、下部の1/3は地山を削り出したものです。残りの2/3は盛った土で、盛土のうち下部1/3は薄い土層を幾重にも積み重ねたもの、上部1/3は黒い土を一気に積んだものと推定されます。

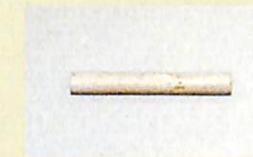
### ◆中心部の状況

遺体を葬った場所は、長さ7~8m、幅1mの穴に棺を納めたものと推定され、東西方向に造られていました。  
中のようなすはわかっていませんが、周辺から管玉くだたま1点とよろいの破片が見つかっています。

## 土器塚古墳の年代と葬られた人物

土器塚は、見つかったよろいの形などから、5世紀前半(古墳時代中期)に造られた古墳であることがわかりました。また、土器塚の北西には京見塚古墳があり、磐田市南西部の有力氏族の古墳群と考えられます。

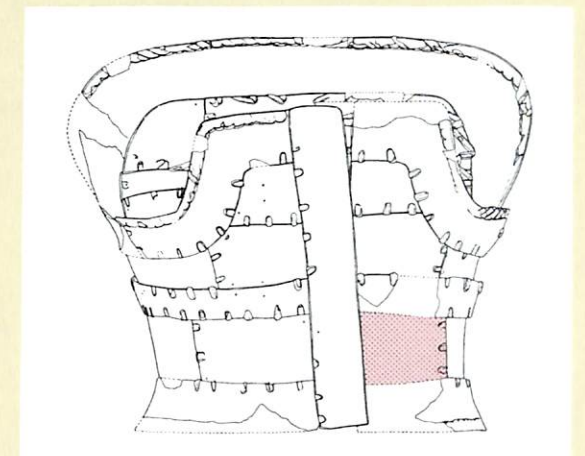
これらは、この地に残る海上皇子伝説などから、5世紀頃に遠江国造であった土師氏一族の墳墓ではなかったかと思われます。



見つかった管玉



よろいの破片



よろいの復元図と破片(上の写真)の位置



土器塚古墳復元図

### ※「戒成(海上)皇子伝説」とは?

桓武天皇の第4皇子に戒成皇子という人がいて、この地に住んでいたという伝説があり、「京見塚」「王屋敷」など、伝説に関わる地名も残っています。桓武天皇には同名の皇子はいませんが、天皇の叔父に海上王、兄に開成がいたといわれ、遠江土師氏の伝える応神天皇の皇子・大山守皇子とその子津布良古王伝承(土方家系図)とが統合されたものと思われます。



## 周辺の史跡案内

きょうみつか

### 京見塚史跡公園

直径47mの古墳時代中期の円墳である京見塚古墳や、その後に造られた小古墳、京見塚古墳の埴輪を焼いたと思われる窯の跡などがみつかっています。古墳の跡や窯跡などは、目で見てわかりやすいように露出展示してあります。



京見塚遺跡公園

かんのんやま

### 観音山古墳

直径36mの円墳です。発掘調査により、古墳時代前期(4世紀)の土器が堀から発見されています。



兜塚古墳

かぶとつか

### 兜塚古墳

かぶと塚公園の中にある直径80mの古墳時代中期(5世紀)の円墳です。鏡や玉などが発見されています。



京見塚古墳から  
見つかった埴輪

## 周辺案内地図

### ●文化財めぐりコース(徒歩所要2時間)

磐田駅 — (約500m) — 澄水山古墳・丸山古墳(磐田農高内) — (約500m) — 遠江国分寺跡・府八幡宮 — (約600m) — 土器塚古墳 — (約350m) — ふれあい会館 — (約200m) — 白山神社 — (約100m) — 京見塚公園 — (約1km) — かぶと塚公園(兜塚古墳)



【編集・発行】

### 磐田市教育委員会文化財課

静岡県磐田市見付3678-1  
TEL (0538) 32-9699

【協力】

原秀三郎(静岡大学名誉教授)  
京見塚自治会